

## トーヨークリーンカップー説明書 (7081)

### —窒素パージ法との比較—

(株) 東洋溶材

東京都板橋区南町23-14

TEL 03-3974-1731

従来の窒素パージ法と比較してトーヨークリーンカップーの優れた点を提示します。

#### 1、 酸化防止性能

窒素パージ法でもクリーンカップー使用の場合でも指示された施工基準通りに作業する限り酸化防止性能は同等です。

クリーンカップーの酸化防止性能に関しては説明書(7011)を参照下さい。

#### 2、 作業性

クリーンカップーは施工現地での作業性に優れ、作業能率の向上、作業員の負担軽減やコストダウンに大きく寄与することが出来ます。

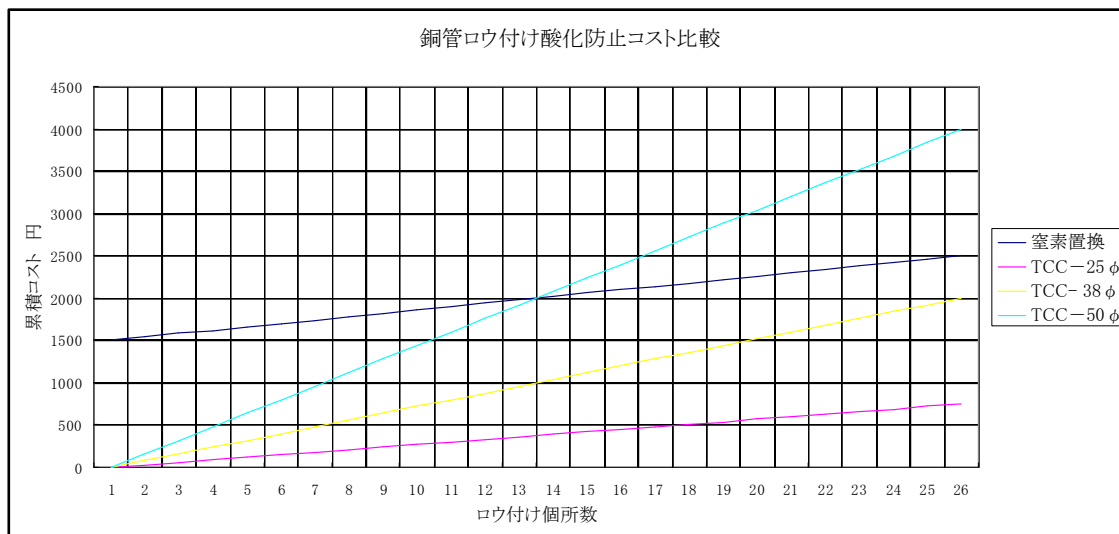
①クリーンカップーは一缶が僅か200gの重さで輻輳した現場でも作業員が楽々持ち運びし使用することが出来ます。

又、一缶の噴射可能回数は約500回で一日の作業に十分な容量を持っています。

②窒素パージ法の場合に付きまとう重たいボンベのセット作業と後片付けの工数を省くことが出来ます。

③窒素パージ法の適用が困難な箇所(冷媒配管と機器との接続箇所、マルチ配管等で窒素が十分行届かない恐れのある箇所)や少ない箇所の補修作業の場合にはクリーンカップーが威力を発揮します。

### 3、コスト



#### 比較前提

- 1、 TCC (トーヨークリーンカップー)
  - ① 一本使い切る迄の噴霧回数 500 回
  - ② 噴霧コスト：10 円／回
- 2、 窒素ページ
  - ① ページ窒素コスト：ろう付け一箇所当たり 40 円
  - ② ボンベ事前段取り・後片付け工賃：1500 円／日 (30 分)

#### 評価

- 1、 通常の作業現場では窒素ページ法は事前段取り・片付けの労務費が支配的でその分のコストが高くなる。
- 2、 ろう付け箇所が少ないと TCC が有利—38φ以下では概ね TCC が有利になる。
- 3、 窒素ページ段取りに手間を要しない場所 (常設工場内作業等) では窒素ページ法が有利である。

以上